

生命保険の社会的役割

～死亡保障，民間医療保険の担い手としての生命保険～

OLIS-プルデンシャル・ジブラルタ 生命保険寄附講座
生命保険概論1

2011年5月12日

プルデンシャル生命保険 顧問、ジブラルタ生命保険 顧問
河野 一郎

1. 生命保険とは

(1) 保険法の定義

(生命保険・傷害疾病定額保険)

- ・生命保険とは、人が死亡したことや一定の時点に生存していることを条件として、一定額の保険金を支払う保険。
- ・傷害疾病定額保険とは、人が傷害や疾病によって入院や死亡したことを条件として、一定額の保険金を支払う保険。

(参考：損害保険の定義)

- ・損害保険とは、火災や交通事故など（偶然の事故）によって生ずる損害を填補する保険。

(2) 生命保険の分類と販売商品

①分類 4種類

- ・ 死亡保険（定期保険）
- ・ 生存保険（純生存保険）
- ・ 年金保険
- ・ 医療保険

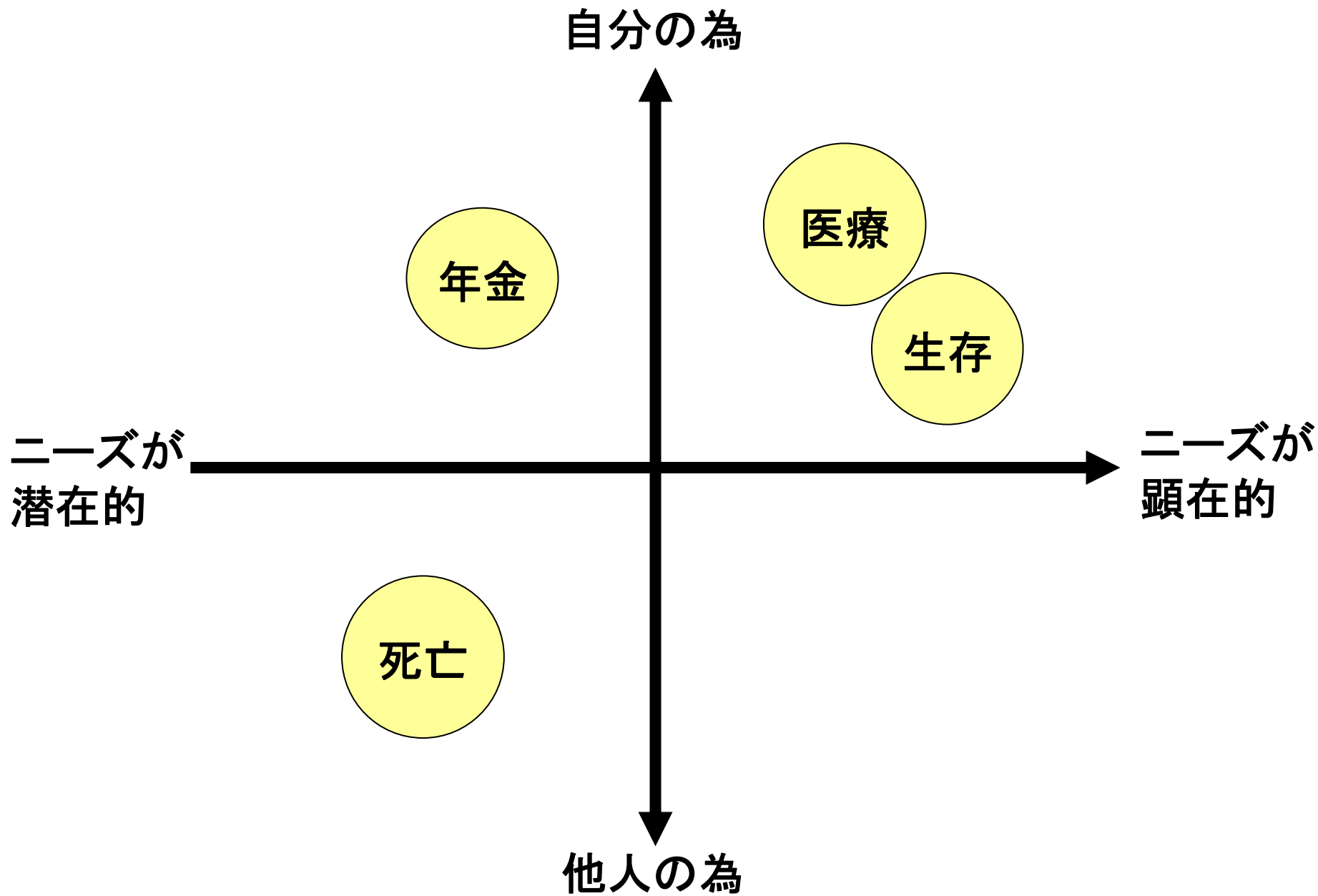
②販売商品

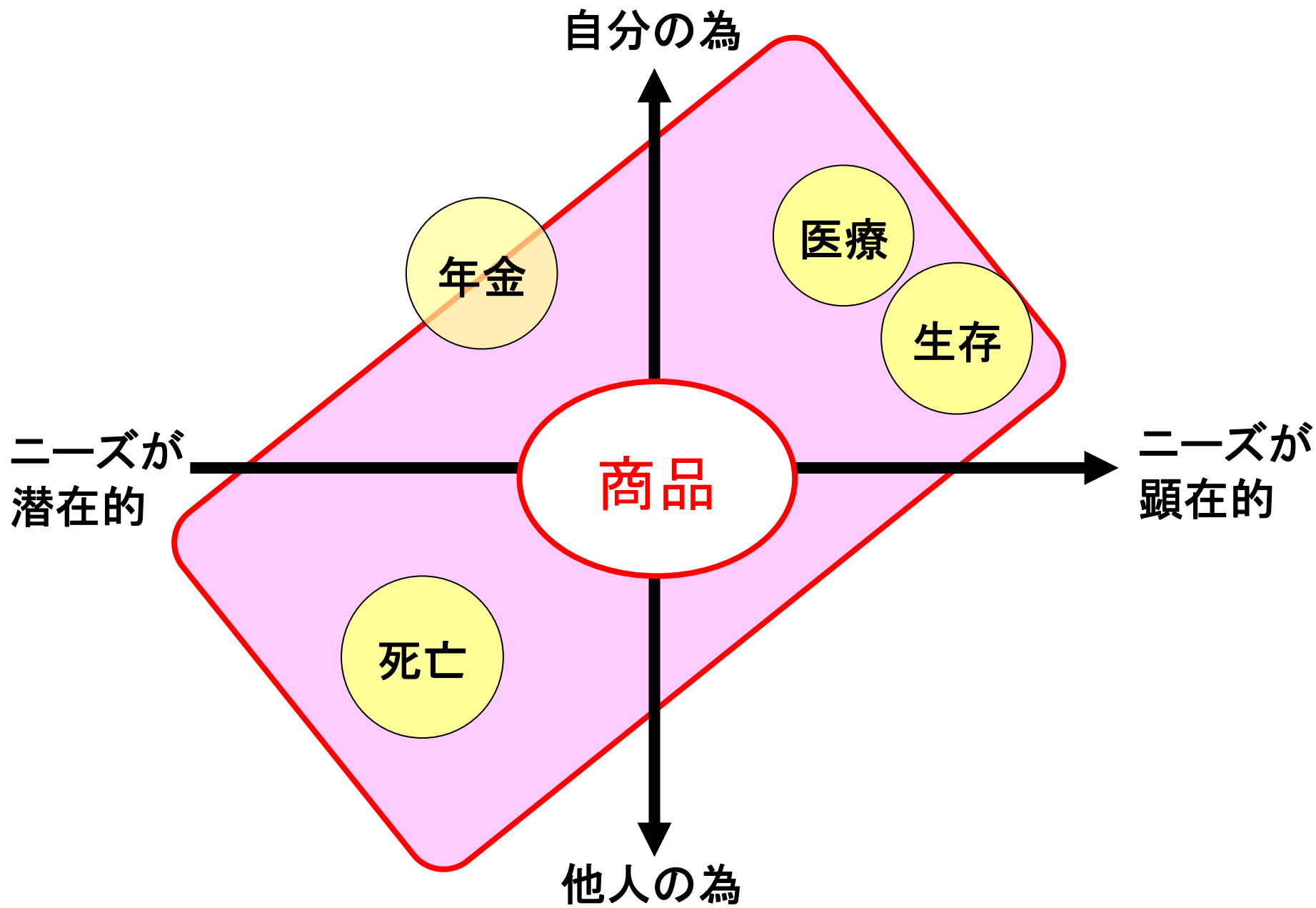
4種類の組合せ

ex. 死亡1 + 生存1 の組合せ（養老保険）

死亡3 + 生存1 の組合せ

死亡 + 生存 + 医療の組合せ





(3) 生命保険制度を支える

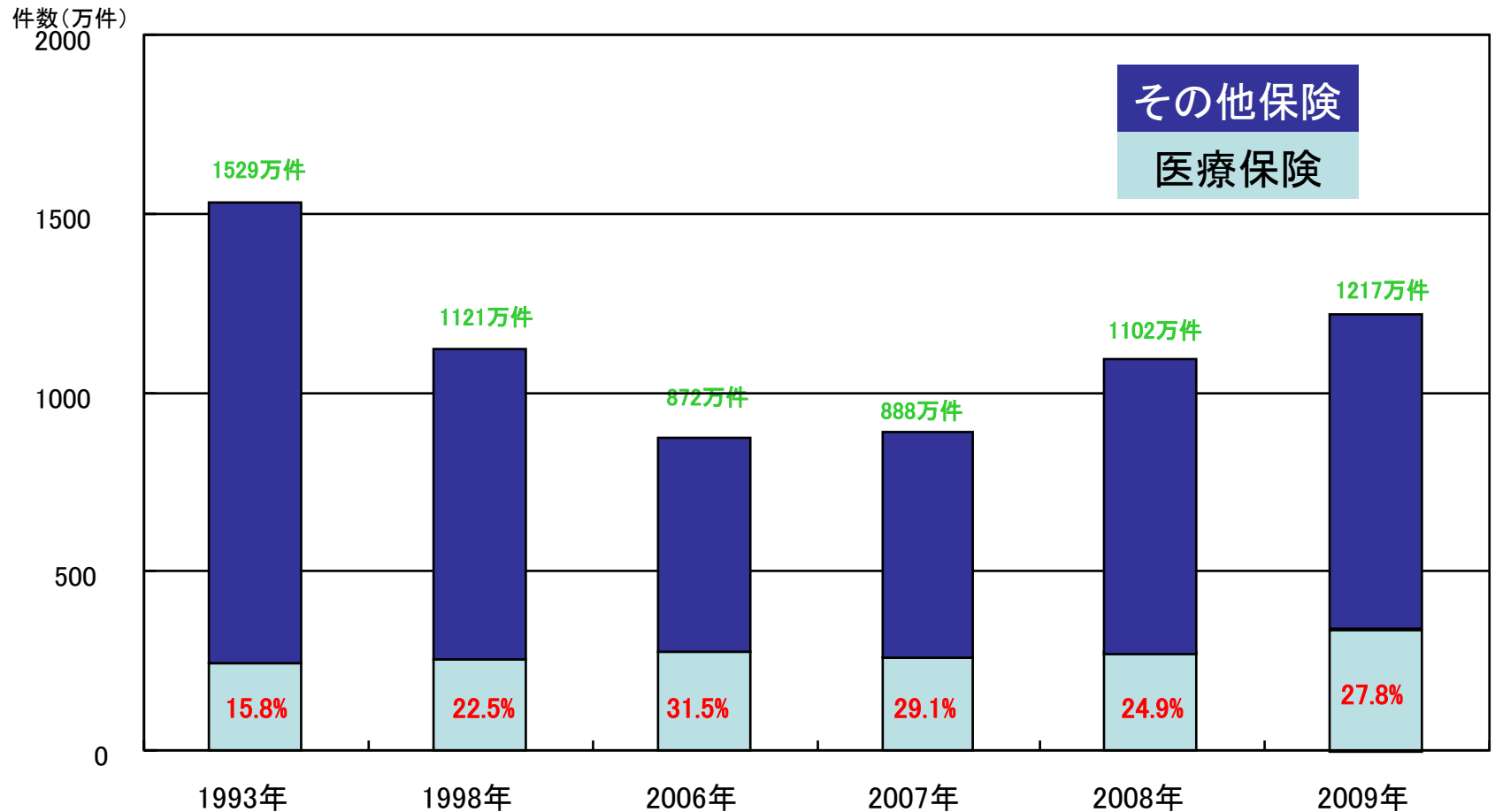
基礎理論 (技術)

- ① 大数の法則 (制度の根拠)
- ② 危険選択 (死亡リスクの均一化)
- ③ 収支相等の原則 (保険料算定)
(給付・反対給付均等の原則)

2. 医療保険

(1) 医療保険の現状

①販売実績（個人保険）



②保障内容

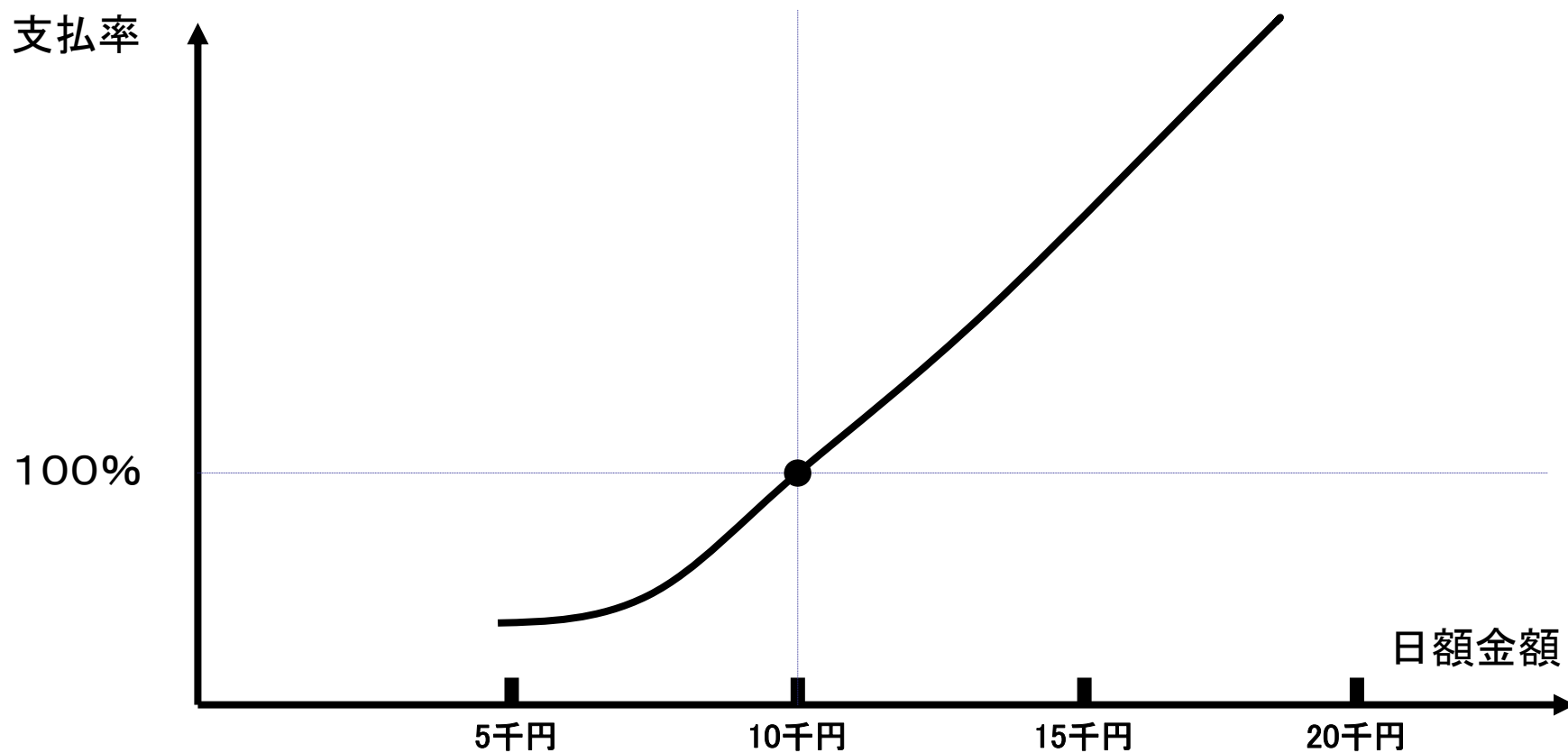
	疾病	特定疾病	ガン
入院	○	○	○
手術	○	○	○
通院	△	△	○
死亡/高度障害	△	△	○
長期入院	△	△	○
先進医療	△	△	—
診断	—	○	○

△ 組込型か特約型

(2) モラルリスク対策

過去の実験

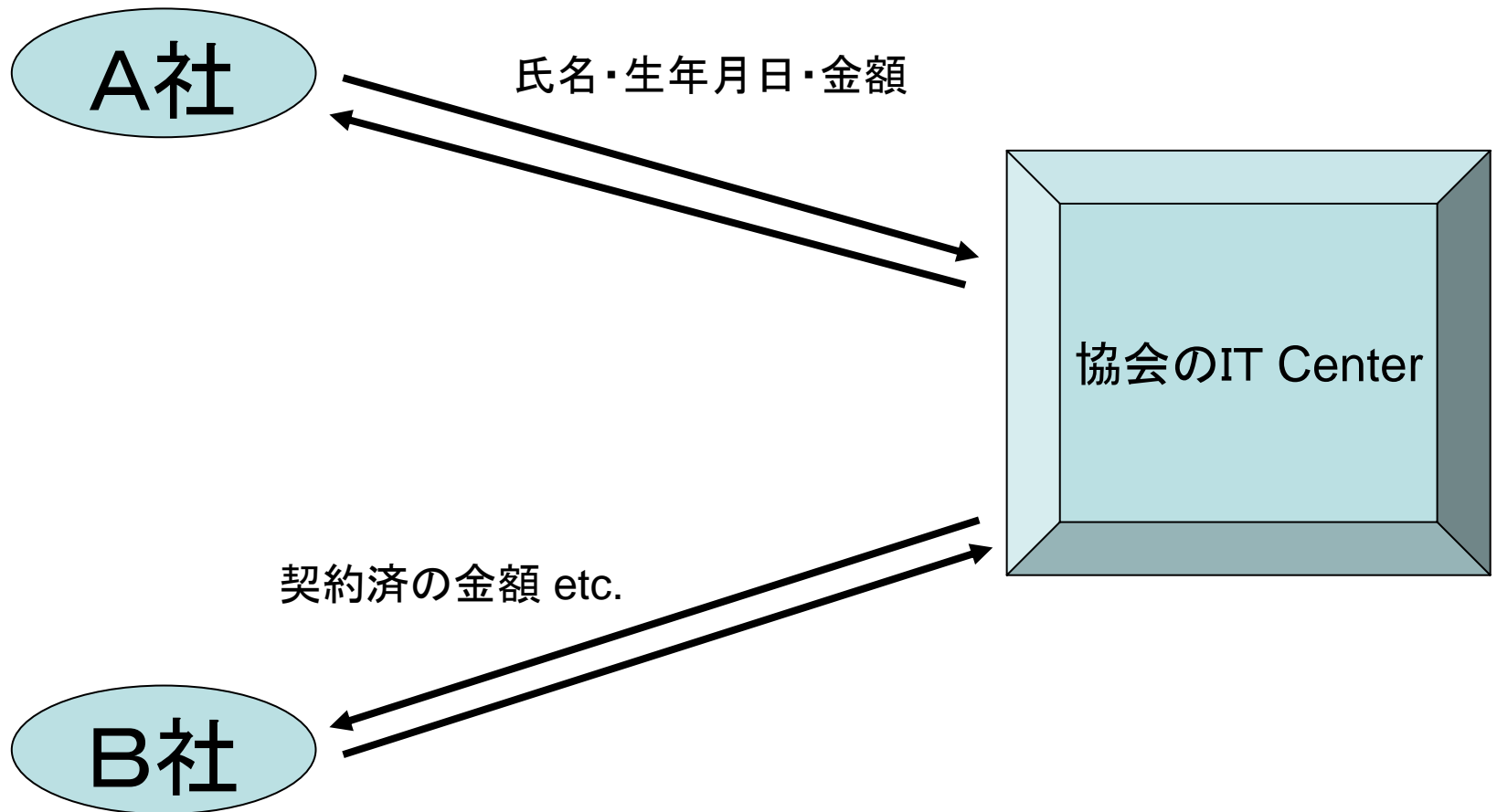
① 支払率は入院日額金額に比例する



② 加入制限後に複数社と契約して高額の給付を得る

例えば；各社日額1万円を20社加入
入院1日 20万円（月600万円）

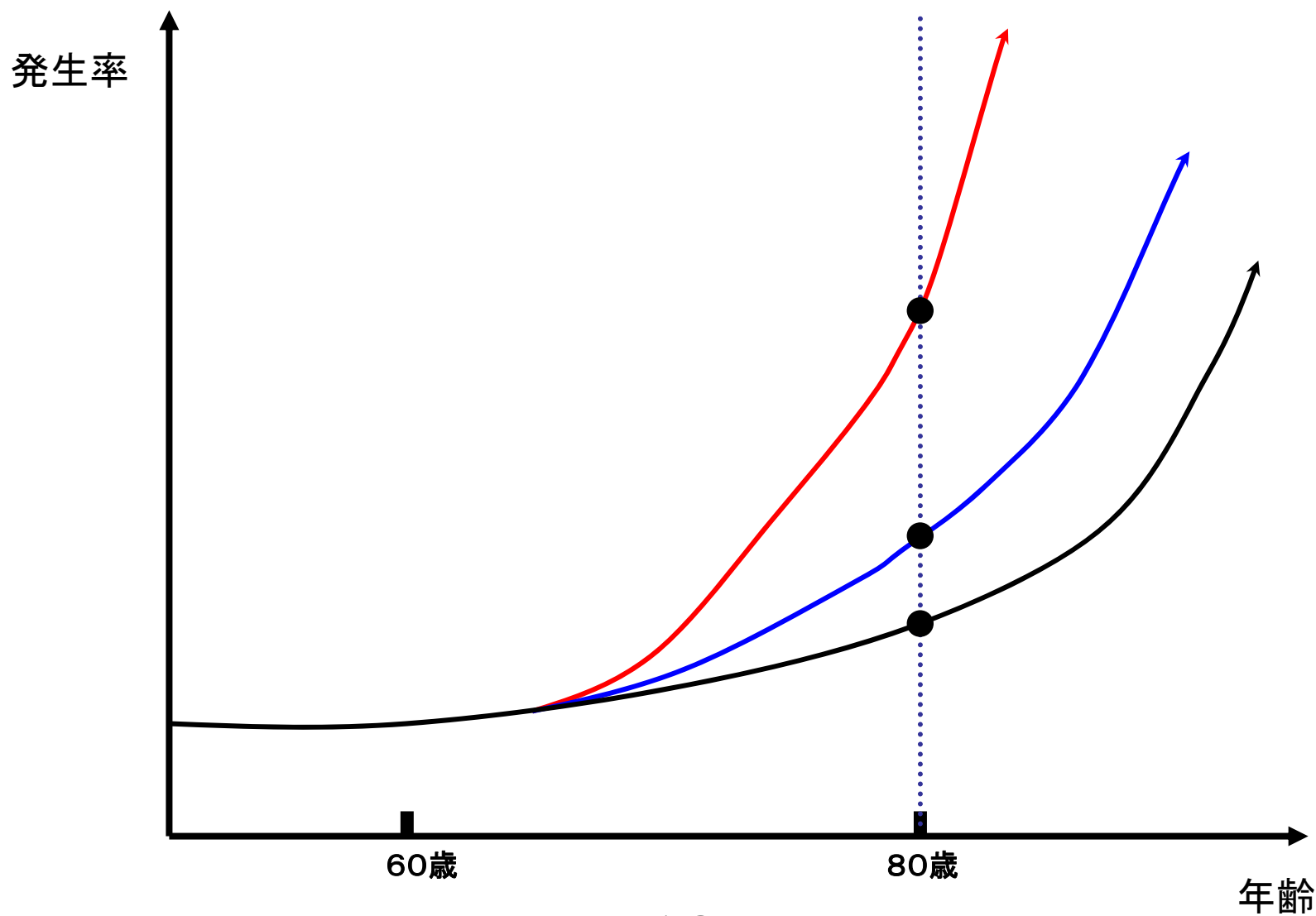
契約登録制度



(3) 販売上の工夫

- ・ DM, ITなどの新しい販売チャネル
- ・ カウンターセールス等 保険ショップ

(4) 将来の課題



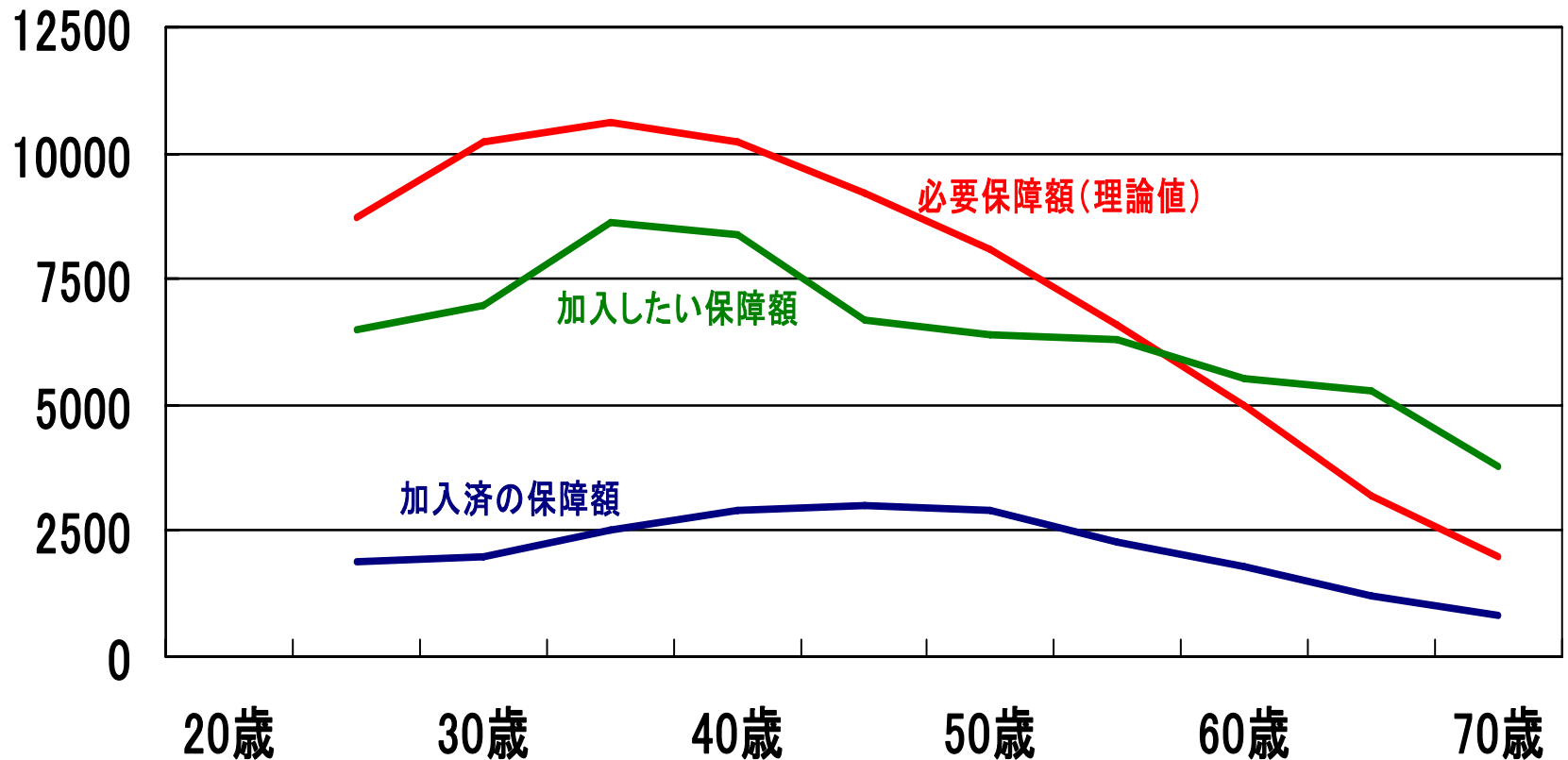
3. 死亡保険

(1) 死亡保険の特異性

- ① ニーズが潜在的
- ② ニーズを自覚した（顕在化）時は、既に加入出来ないことが多い
- ③ 自分の為ではなく、死後遺していく家族の為
- ④ 販売が難しく、工夫が必要

(2) 死亡保険の現状 (保障の充足度)

必要保障額の3割程度の充足度

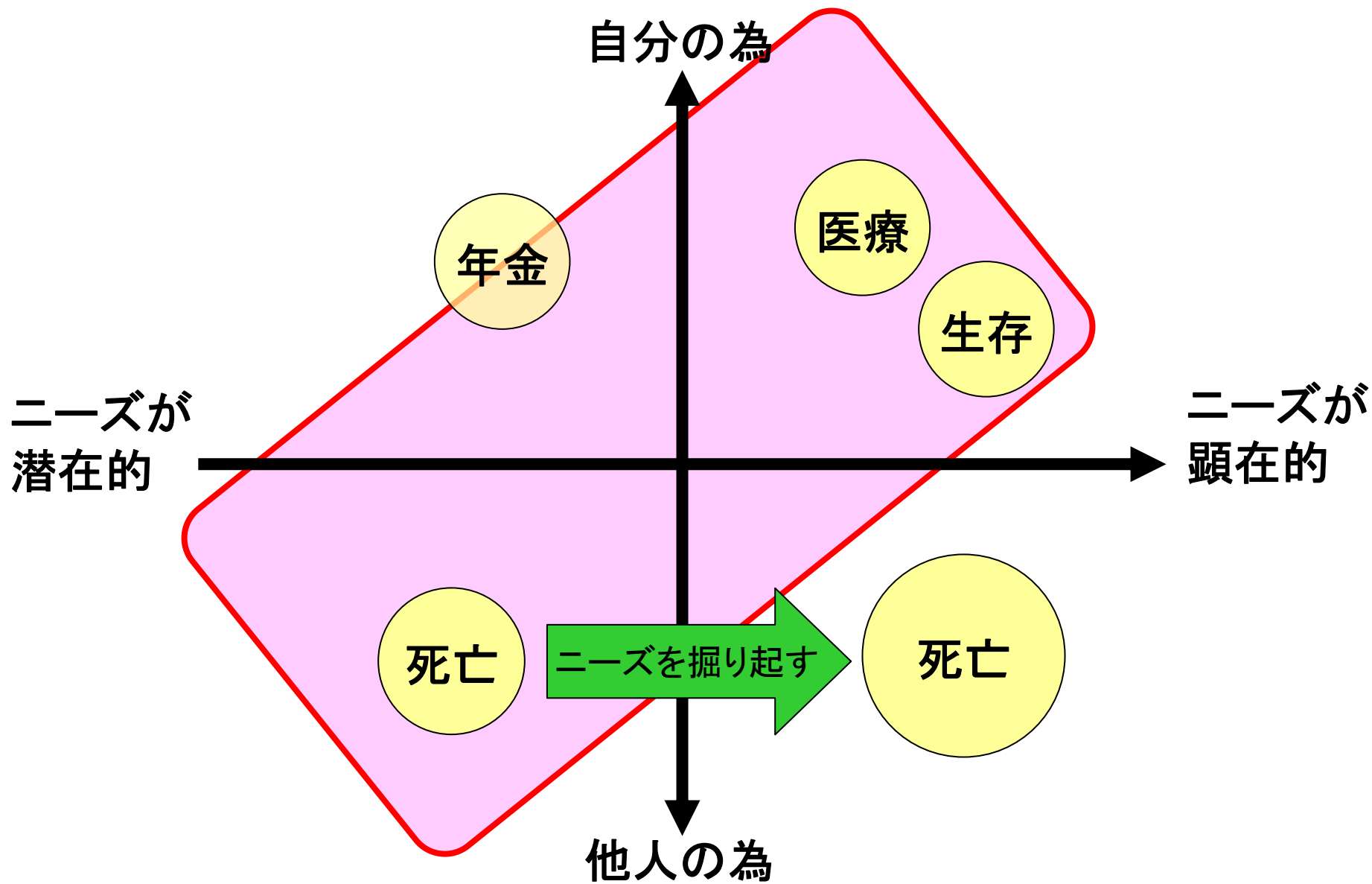


(3) 販売上の工夫

二つの戦略

- ① 商品 ⇒ よりセルフディマントな商品
- ② 販売 ⇒ 潜在ニーズを顕在化

<販売上の工夫>



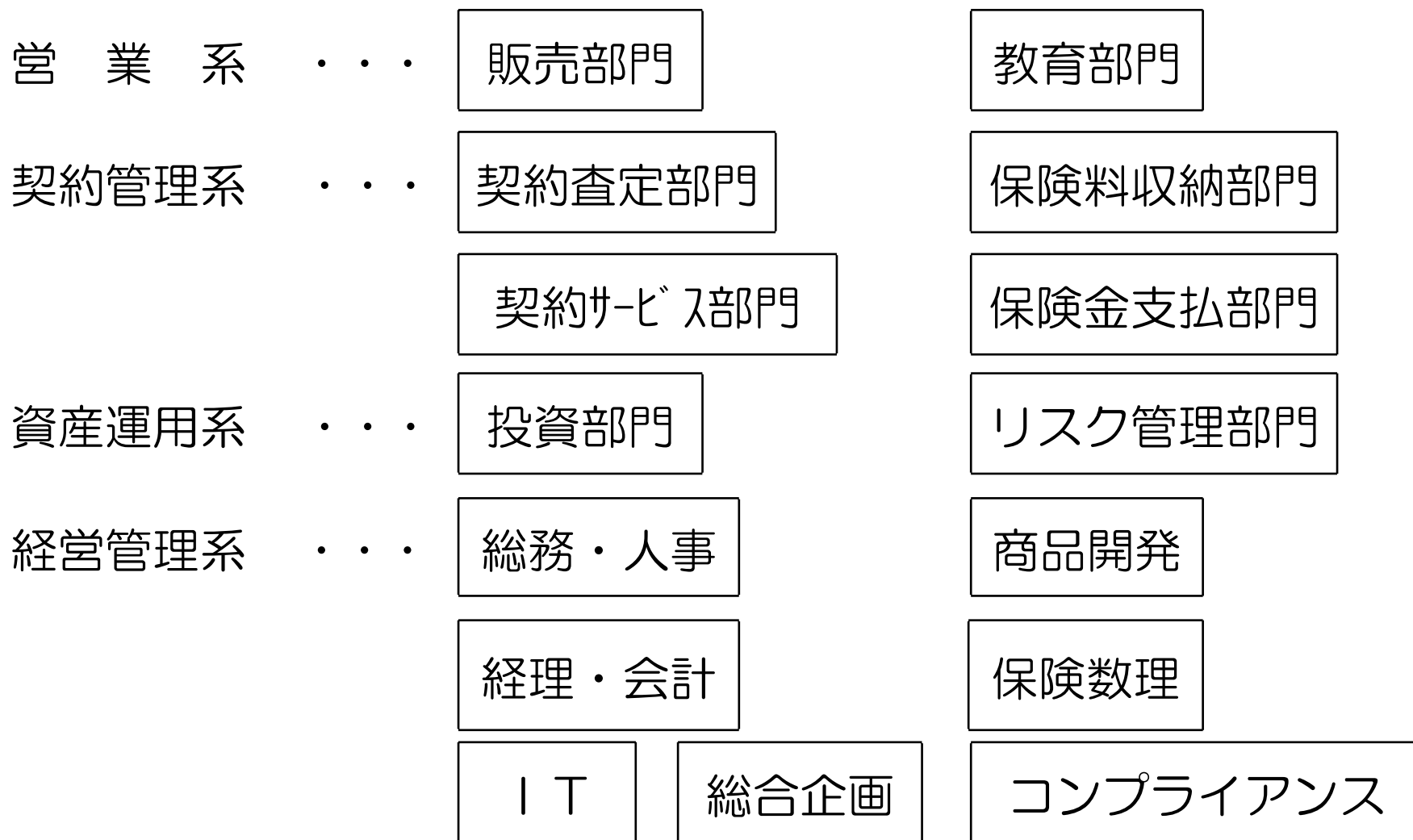
4. 生命保険業界の現状と 生命保険会社の組織

(1) 生命保険業界の現状

- 会社数 47社
- 従業員数 事務系 9万人
営業系 20万人
- 収入保険料 34兆円
- 総資産 318兆円 (対個人金融資産 22%)
- 保有契約高 902兆円 (対GDP 201%)

2009年度末状況

(2) 生命保険会社の組織と機能



5. 保険と賭博(バクチ)

似て非なるもの

保険加入の効用(満足度)は、加入しない場合より大きい。

逆に、バクチをした場合の効用は、しない場合より小さい。

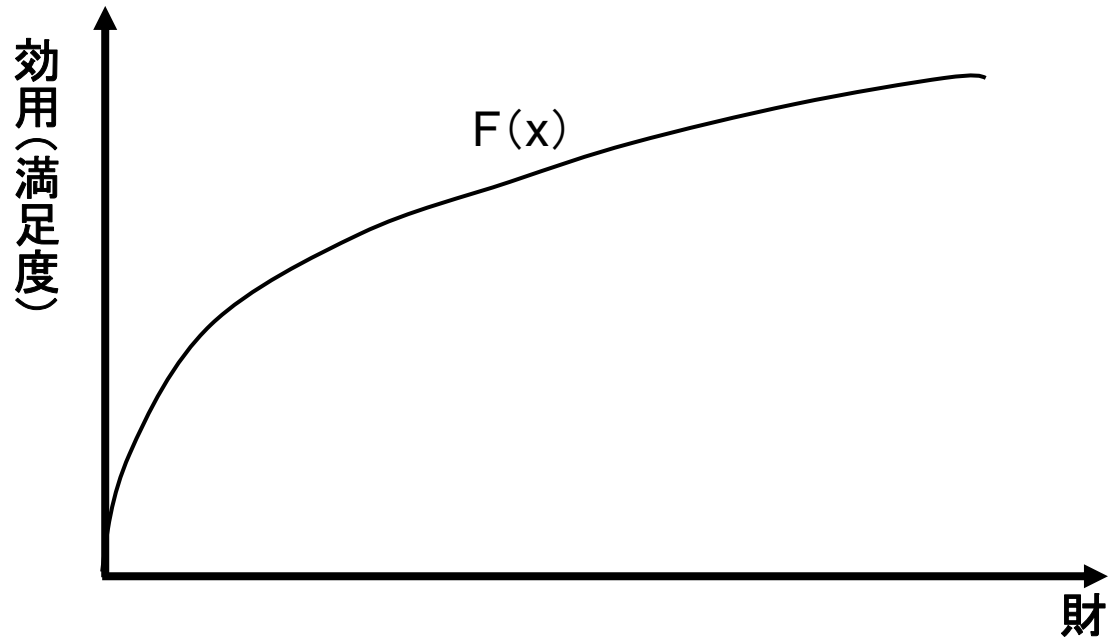
限界効用逓減の法則

財やサービスに対し感ずる満足度(効用)は、その量が増えれば増大するが、その増加量は次第に減少する。

$F(x)$ は増加函数、 $F(x) > C$

$\frac{dF(x)}{dx}$ は減少函数、

$\frac{dF(x)}{dx} > 0$



< 保 険 >

保険加入の場合

通常、保険事故が発生した場合、失う財を保険金で補うので、
保険事故が発生しない場合と変わらない。 $F(x-a)$ a :保険料

保険未加入の場合

保険事故発生した場合 $F(x-s)$ S :損失額
保険事故発生しない場合 $F(x)$
 $p \cdot F(x-s) + (1-p)F(x)$ p :発生確率

$$pF(x-s) + (1-p)F(x) < F(x-a)$$

$$\frac{pF(x-s) + (1-p)F(x) - F(x-a)}{pF(x-s) + (1-p)F(x) - F(x-a)}$$

$$= \{F(x) - F(x-a)\} - p \{F(x) - F(x-s)\} < 0$$

$$\therefore p \{F(x) - F(x-s)\}$$

$$= p [\{F(x) - F(x-a)\} + \{F(x-a) - F(x-2a)\} + \dots + \{F(x-s+a) - F(x-s)\}]$$

$$> p \cdot \frac{1}{p} \{F(x) - F(x-a)\} = \{F(x) - F(x-a)\}$$

< 賭博(バクチ) >

賭博(バクチ)をしない場合

$$F(x)$$

賭博(バクチ)をする場合

当たりを得た場合 $F(x+s-a)$ s :獲得賞金

a :掛金

はずれた場合 $F(x-a)$ p :当り確率

$$p \cdot F(x+s-a) + (1-p)F(x-a)$$

$$p \cdot F(x+s-a) + (1-p)F(x-a)$$

$$p \cdot F(x+s-a) + (1-p)F(x-a) < F(x)$$
